地域密着型設計演習プログラム

# KYUSHU DESIGN CHARRETTE

# KUMAMOTO

# 2022.8.29-9.1

□九州デザインシャレット 2022 in 熊本市　テーマ

## 「城下町くまもとのツボをデザインする」

本演習で対象とする熊本市街地は江戸時代の町割りを今に残し、城下町の風情を現在でも感じられることが特徴です。一方で、元々が城を防御する都市構造であったため、現代の基盤としては歩行動線の連続性が分かりにくいなど、まちなかの回遊性に課題も抱えています。市街地のなかで最も人通りの多いアーケード街からは電車通りを挟んでいることもあり、熊本城とまちなかとの人の流れが分断されてしまっています。このようななか、2019年に開業した桜町地区市街地再開発事業、そして2021年に供用開始した花畑広場では、江戸時代の広小路であった道路を広場化することで人の流れをつくる空間を創出し、賑わいを生み出す利活用の運用も始められています。このように歴史的な骨格を現代的に解釈し直し、新たな機能性や活用策を導入する取り組みも参考としながら、人の流れや新たな利活用を喚起するような城下町くまもとの“ツボ”を刺激するデザイン提案を行うことが本演習のテーマです。

シャレット（charrette）は仏語で「荷馬車」という意味です。仏の大学生が設計課題の提出日に荷馬車に図面を積んで学校に来る様子から、短期間に集中的に行う演習を意味するようになったと言われています。

**■プログラムの特徴**

①**合宿形式**：設計演習は熊本市に３泊４日滞在し、参加者のグループワークによって行います。各班には若手講師をチューターとして配置し、グループワークの相談にのったり、資料や模型の作り方等の技術的なサポートを行います。

②**地域密着型**：本演習の開催は市の協力を得ており、特に演習の最終日には実際に事業を進めている関係者に対するプレゼンテーションを行います。良い提案については、現在進められている設計検討に反映される可能性もありますので、ぜひ頑張って良い提案をつくっていただけたらと思います。（なお、本企画は純粋な設計演習の場であり、ここでの成果について熊本市には一切の責任はありません）

③**実務的な講師陣**：講師は各地のまちづくりプロジェクトに活躍する大学研究者に加えて、ランドスケープデザインに関するコンサルティング業務に従事されている吉村氏・女鹿氏、全国のまちなか広場の整備・運営に活躍されている山下氏を迎え、実践的な指導を行うメンバーを揃えております。

④**初学者から経験者までを対象**：設計演習は、現地見学、講師によるレクチャー、グループワーク、エスキース、デザインスタディ、プレゼンテーション等から構成され、公共空間のデザインを考える際に必要な「コンセプト～プランニング～デザイン～プレゼン」の基礎を体系的に学ぶことができます。講師やチューターが丁寧に指導しますので、初学者でも心配せずに受講を検討されてください。

⑤**土木学会との連携**：本演習の成果は 12 月に岐阜大学で開催される土木学会景観・デザイン研究発表会においてポスター発表することを想定しています。学会への参加は必須ではありませんが、全国の景観・デザイン関係者と交流する素晴らしい機会となりますので、あわせてご検討ください。

□**開催期間**：８月２９日（月）～９月１日（木）
□**演習会場**：熊本市国際交流会館（熊本市中央区花畑町 ４ 番 18 号）
□**対象者**：学生と社会人をあわせて２５名程度
・４０歳程度以下の方　・３泊４日のプログラム全てに参加できる方
・定員を超える場合は参加者を選定させていただくことがあります
□**講習費**：学生 15,000 円、社会人 36,000 円
＊飲食代・宿泊代は含まれません。宿泊は参加者各自での手配をお願いします。
□**募集期間**：６月１日（水）～６月３０日（木）
□**参加申し込み**：URL or QR コード先から必要事項を入力し送信してください
（Google フォーム）URL：https://forms.gle/UPrZhuqXGqJa4TaB9
①メールアドレス ②氏名 ③学生 or 社会人 ④所属 ⑤年齢
⑥志望動機（150 字程度）⑦模型制作経験 ⑧電話番号 ⑨住所
＊お申し込みの際に頂いた個人情報は本行事のみに使用いたします。
□問い合わせ先：風景デザイン研究会 事務局
info@fukei-design.jp（担当：原田）
□**建設コンサルタンツ協会 CPD**：38.0 単位 **造園 CPD**：38.0 単位
□**主催**：風景デザイン研究会
□**協力**：熊本大学 くまもと水循環・減災研究教育センター
※新型コロナウイルス感染症への対応：九州デザインシャレット 2022 は参加者、スタッフ、地域の皆様への感染防止に努めるため新型コロナウイルス対策を十分に講じた上での開催を予定しております。なお、感染状況等によっては開催中止となる可能性もございます。予めご了承ください。

□**講師**

ゲスト講師

**吉村 純一**（プレイスメディア：ランドスケープアーキテクト）
**田中 智之**（熊本大学 田中智之研究室：建築家）
**山下 裕子**（ひと・ネットワーククリエーター：広間ニスト）
**女鹿 裕介**（プレイスメディア：ランドスケープアーキテクト）
**吉海 雄大**（益城町地域おこし協力隊：建築）

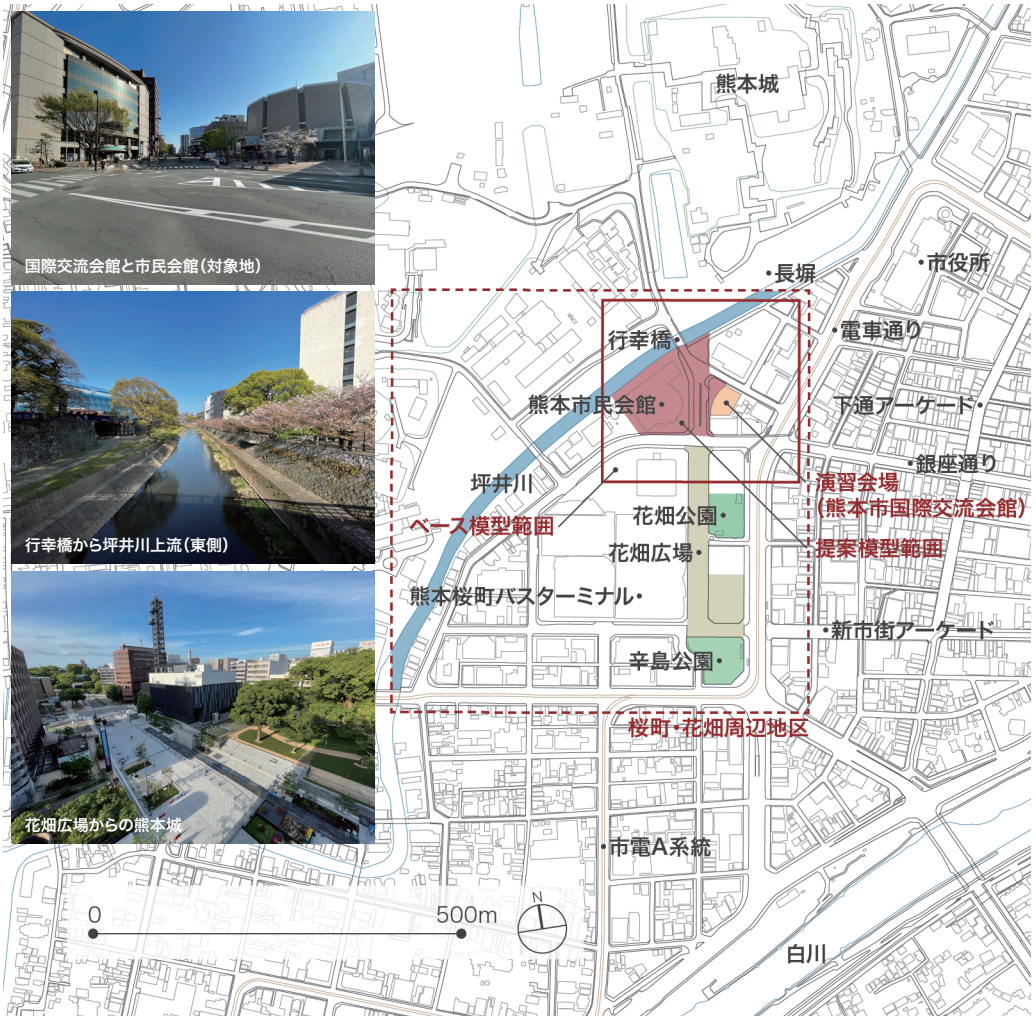
風景デザイン研究会

**柴田 久**（福岡大学 景観まちづくり研究室）
**田中 尚人**（熊本大学 地域風土計画研究室）
**星野 裕司**（熊本大学 景観デザイン研究室）
**高尾 忠志**（地域力創造デザインセンター）
**石橋 知也**（長崎大学 環境計画研究室）
**増山 晃太**（風景工房・熊本大学 景観デザイン研究室）
**尾野 薫**（宮崎大学 地域交流デザイン研究室）
**池田 隆太郎**（福岡大学 景観まちづくり研究室）

国際交流会館と市民会館（対象地）


行幸橋から坪井川上流（東側）


花畑広場からの熊本城




## ■対象地および演習課題
## 復旧復興が進む熊本城と花畑広場の間に位置する「熊本市民会館とその周辺の公共空間」

今年の対象地である熊本市民会館とその周辺は、熊本城への玄関口の一つである行幸（みゆき）橋があり、坪井川沿いに伸びる長塀（ながべい：国指定重要文化財）や細川家時代の屋敷の一部が花畑公園として残されている歴史的な地区です。また、市民利用の多いホールなどの文化施設が集積し、一日当たりの発着台数約4千台、約4万人が利用する国内最大級（29ヵ所の乗降場）のバスターミナルが隣接する交通拠点でもあります。

桜町・花畑周辺地区では、“熊本城と庭つづき『まちの大広間』”というコンセプトのもと熊本桜町バスターミナルを併設した大規模な商業施設が2019年に開業し、前面道路は廃道され広場化（花畑広場：2021年供用開始）するなど周辺の施設や公園との一体的な整備が進められています。

本演習ではこのような周辺地区の変化も受け、地震からの復旧復興が進む熊本城と花畑広場や坪井川沿いの遊歩道との間に位置する「熊本市民会館とその周辺の公共空間」の将来的なビジョンを示し、市民会館の一部リノベーションや公共空間の再編について模型等を製作して具体的なデザイン計画の提案を課題とします。

## ■プログラム

| | 8/29（月） | 8/30（火） | 8/31（水） | 9/1（木） |
|---|---|---|---|---|
| 9:00 | エスキス／講評会の様子（2018） | 9 講師によるレクチャー（田中智之） | 9 講師によるレクチャー（吉村純一） | 9 |
| 10:00 | | 10 コンセプトメイキング①（グループワーク） | 10 デザインスタディ②<br>計画図・提案模型検討<br>（グループワーク） | 10 提案模型・プレゼン準備（グループワーク） |
| 11:00 | | 11 | 11 | 11 |
| 12:00 | 会場集合 | 12 昼　食 | 12 昼　食 | 12 昼　食 |
| 13:00 | ガイダンス<br>対象地・テーマについて（星野裕司） | 13 講師によるレクチャー（柴田久） | 13 デザインスタディ③<br>提案模型検討<br>（グループワーク） | 13 講師および地域の関係者による講評会 |
| 14:00 | 現地調査<br>講師による解説<br>（グループワーク） | 14 コンセプトメイキング②<br>デザインスタディ①<br>対象地計画図検討<br>（グループワーク） | 14 | 14 |
| 15:00 | | 15 | 15 | 15 |
| 16:00 | | 16 | 16 講師によるエスキス② | 16 |
| 17:00 | 調査結果 vs 山下裕子 | 17 | 17 デザインスタディ④<br>提案模型検討<br>（グループワーク） | 17 |
| 18:00 | | 18 | 18 | 18 撤収作業 |
| 19:00 | 懇親会<br>（屋外を予定） | 19 講師によるエスキス① | 19 | 参加者・スタッフでの集合写真（2019） |
| 20:00 | | 20 | 20 | |
| 21:00 | | 21 | 21 | |